「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

技術名称 :ザルコン

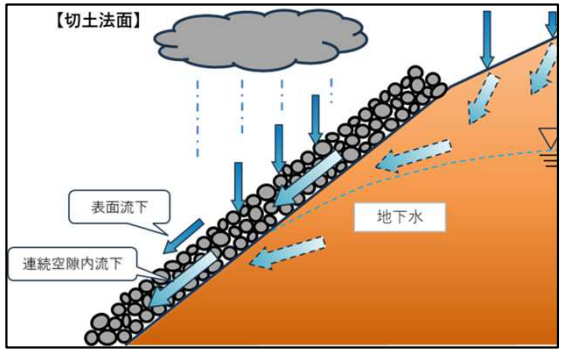
登録事業者：東興ジオテック株式会社

様式２

①　技術概要・概要図

・ザルコンは、内部に連続空隙を有する“ザル”状の透水性コンクリートを法面（斜面）に造成する工法です。

・全面的に排水が可能な開放型法面保護工でダム湛水法面、道路法面、河川護岸の堤外地法面など、水の影響を受けやすい箇所や、湧水の多い法面（斜面）に有効です。



②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和7年度
発注機関	国土交通省　三次河川国道事務所
事業名	尾道・松江自動車道竹地谷中第４改良工事
対象地	広島県庄原市口和町竹地谷　地内
工　期	令和7年1月24日～令和7年11月28日
数　量	透水性コンクリート吹付工A=674.5㎡

③　活用に至った現場条件や経緯

・背面地山からの湧水が多く、密閉型の法面保護工は適用が困難であった。

・開放型法面保護工の中でも、植生工は湧水により侵食されるおそれがあるため、耐侵食性および耐久性に優れた工法として、ザルコン（透水性コンクリート吹付工）を採用した。

④　活用効果（本事例における効果）

・ザルコンから背面地下水の排出が確認された。

・ザルコンの空隙から背面地下水が排水されることにより
①水位の変動による背面間隙水圧の低減
②土粒子密の吸出し防止
の効果が期待され、モルタル吹付工と比較して耐用年数が増加することから、LLCの向上が期待される。

⑤　活用状況写真



